

## 輸送動向について(2月分)

平成18年3月

## 1. 輸送概況

今月は、上旬に千葉県北西部で発生した地震、及び北日本の日本海側で大雪による輸送障害が発生した他、下旬には山陽本線広島地区でトラックの積荷が線路上に落下する事故が発生し、これらの影響により高速貨141本、専貨11本が運休となった。

荷動きについては、比較的堅調に推移したものの、石油が減送となった影響を大きく受け、輸送量全体では前年比98.1%となった。

コンテナ貨物では、化学工業品やエコ関連物資が前年を下回ったものの、車扱のコンテナ化により増送となった紙パルプ等の他、東海地区を中心に引続き好調な自動車部品、並びに化学薬品等が前年を上回り、前年比103.7%となった。

車扱貨物では、昨年、工場の設備不調で減送となったセメント等が前年を上回ったものの、中旬以降は気温が高めに推移したこと、及び北海道室蘭の製油所での事故による影響のため石油が前年を大幅に下回り、前年比91.6%となった。

## 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計			年度累計		
	本年実績	前年実績	前年比	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	1,723	1,661	103.7%	20,235	19,901	101.7%
車 扱	1,336	1,458	91.6%	13,445	13,505	99.6%
計	3,059	3,119	98.1%	33,680	33,406	100.8%

## 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	87	80	7	108.8%
	生野菜青果物	78	75	3	104.0%
	化学工業品	161	162	-1	99.4%
	化学薬品	147	136	11	108.1%
	食料工業品	241	235	6	102.6%
	紙パルプ等	292	271	21	107.7%
	他工業品	125	120	5	104.2%
	積合せ貨物等	184	181	3	101.7%
	自動車部品	56	46	10	121.7%
	エコ関連物資	35	40	-5	87.5%
	その他	317	315	2	100.6%
コンテナ計	1,723	1,661	62	103.7%	
車 扱	石 油	896	1,009	-113	88.8%
	セメント	100	89	11	112.4%
	石 灰 石	57	53	4	107.9%
	車 両	145	158	-13	91.9%
	紙・パルプ	29	33	-4	87.8%
	化学工業品	46	47	-1	97.4%
	その他	62	69	-7	90.2%
車 扱 計	1,336	1,458	-123	91.6%	
合 計		3,059	3,119	-61	98.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)